

W杯 もう一人の勝者 サイバーエージェント

長期目線で投資できるか？

2022/12/02

日本がスペインに勝利、GL突破！！

FIFAワールドカップ2022 · 今日

試合終了



日本

2

-

1



スペイン

グループステージ · グループ E

もうひとりの勝者



言葉もないですが、ABEMAはこんな時間にも関わらず、また過去最高視聴を更新しました。ご視聴ありがとうございました。。。。

#本田圭佑
#本田さん
#本田の解説

午前6:03 · 2022年12月2日



放映権料「200億円」

W杯で気付かされた「地上波よりABEMAのほうが便利」という事実 放映権料「200億円」の舞台裏

2022W杯

2022/12/01 18:00

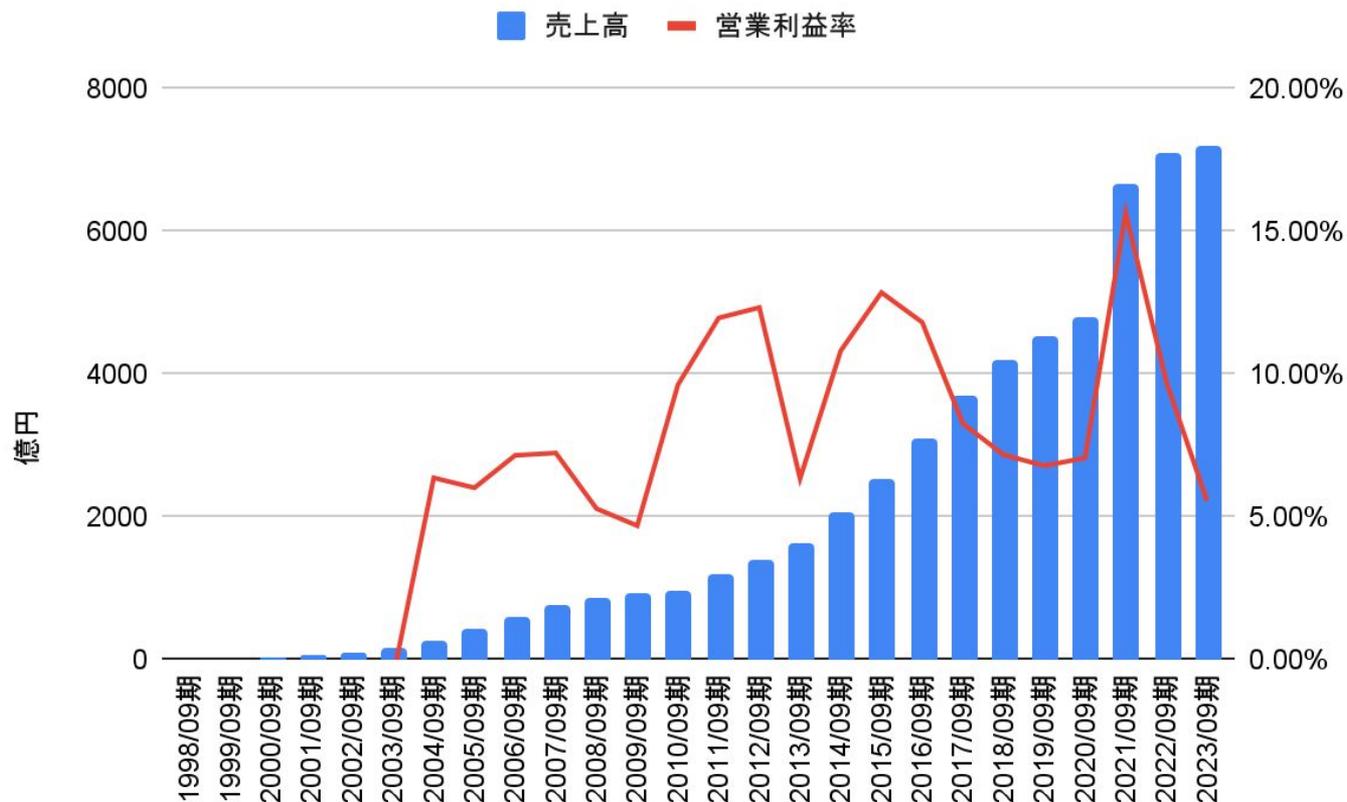


筆者：米倉昭仁

AERAdot.

連日連夜、日本中を“楽しい寝不足”にさせているサッカーのワールドカップ（W杯）カタール大会。その中継で名を上げたのが、無料で楽しめるインターネットテレビ局「ABEMA」だ。「移動中もスマホで楽しめる」「試合後も見られる」「全64試合視聴できるアプリがわかりやすい」と、人気が急上昇。日本代表が1次リーグの初戦で強豪のドイツに逆転勝利した日の1日の視聴者数が「1000万を超えた」とABEMAは高らかにアナウンスした。これまでW杯のような国際大会の中継は、テレビの独壇場だった。今回ABEMAがFIFAに支払った放映権料は200億円ともいわれる。“新しい未来のテレビ”を掲げるABEMAが設立した当初から藤田晋社長に取材してきたITジャーナリスト・西田宗千佳さんに舞台裏を聞いた。

業績は順調に推移



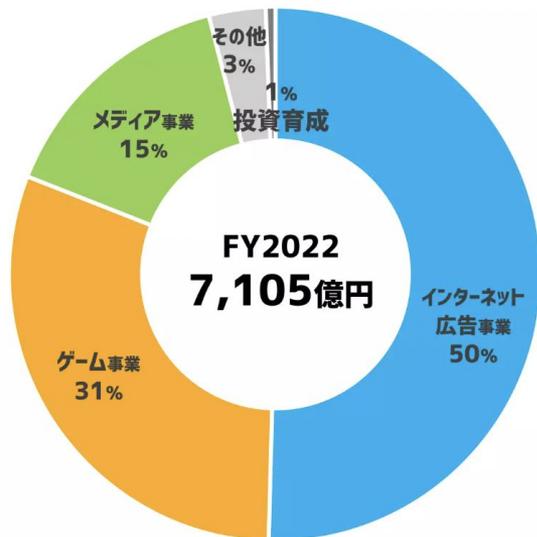
出典:各年度有価証券報告書、SPEEDAより作成(2023年9月期は会社予想)

インターネット広告事業が柱

1. サイバーエージェントとは



[連結売上高構成比※]



※連結売上高構成比：内部取引控除前の数値にて算出

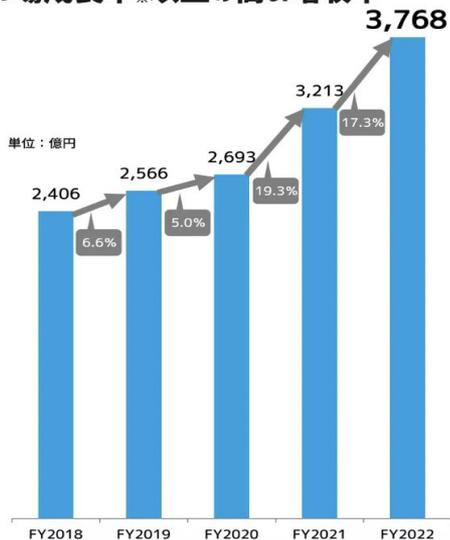
成長を支える事業

4. インターネット広告事業



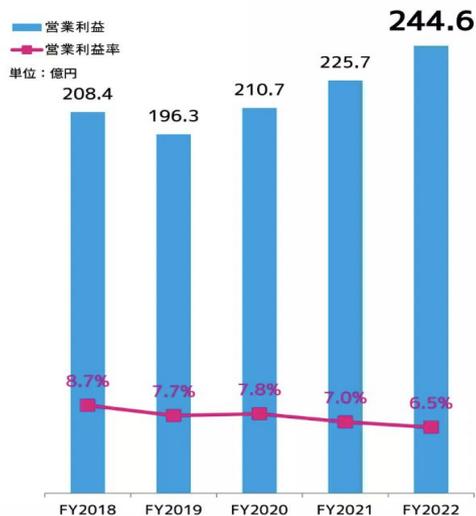
[売上高 (通期)]

3,768億円 (YonY **17.3%**増)
市場成長率※以上の高い増収率



[営業利益 (通期)]

244億円 (YonY **8.4%**増)
持続的な成長を目指し採用強化



- 高モチベーションの営業
- 藤田氏の先見の明



サイバーエージェントの
成長を支える事業に

※市場成長率：2022年YonY10.0%増 「2022年度の広告費予測（2022年7月公表）」日経広告研究所

ウマ娘を産んだゲーム事業



ボラティリティが高いゲーム事業

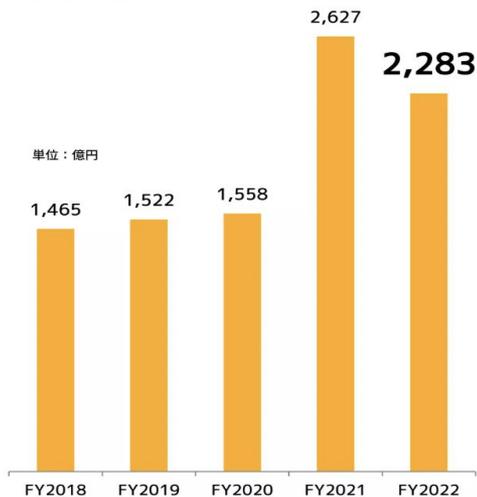
5. ゲーム事業



[売上高（通期）]

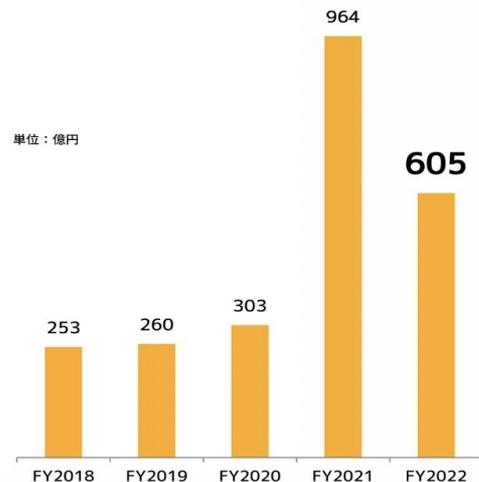
2,283億円 (YoY 13.1%減)

前期にリリースしたタイトルの反動がありつつも
高い水準を維持



[営業利益（通期）]

605億円 (YoY 37.2%減)



育成中のメディア事業

新しい未来のテレビ **ABEMA**



ブログサービス



マッチングサービス



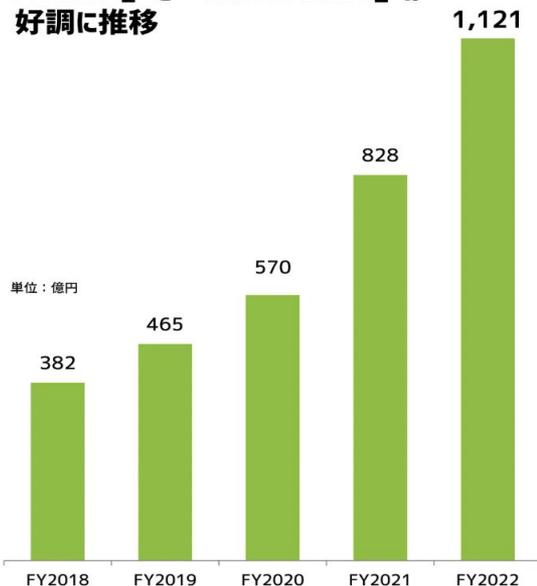
Abemaへの投資が先行し年100~200億円の赤字

6. メディア事業



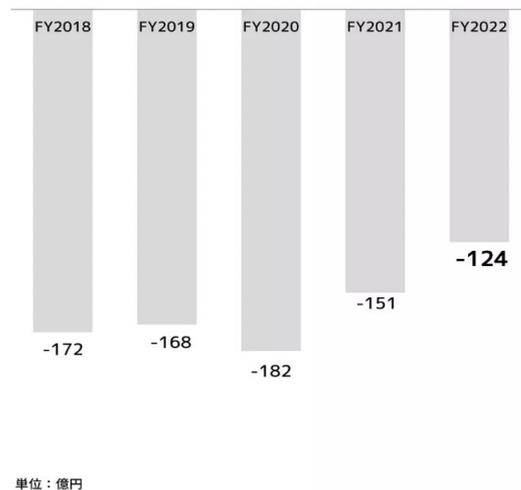
[売上高 (通期)]

1,121億円 (YoY 35.3%増)
「ABEMA」と「WINTICKET」が
好調に推移



[営業損益 (通期)]

営業損失 **-124**億円
YoYで損益改善



200億円! ?



W杯でAbemaは成長するのか？



月額課金ユーザーは
メイン収益源ではない

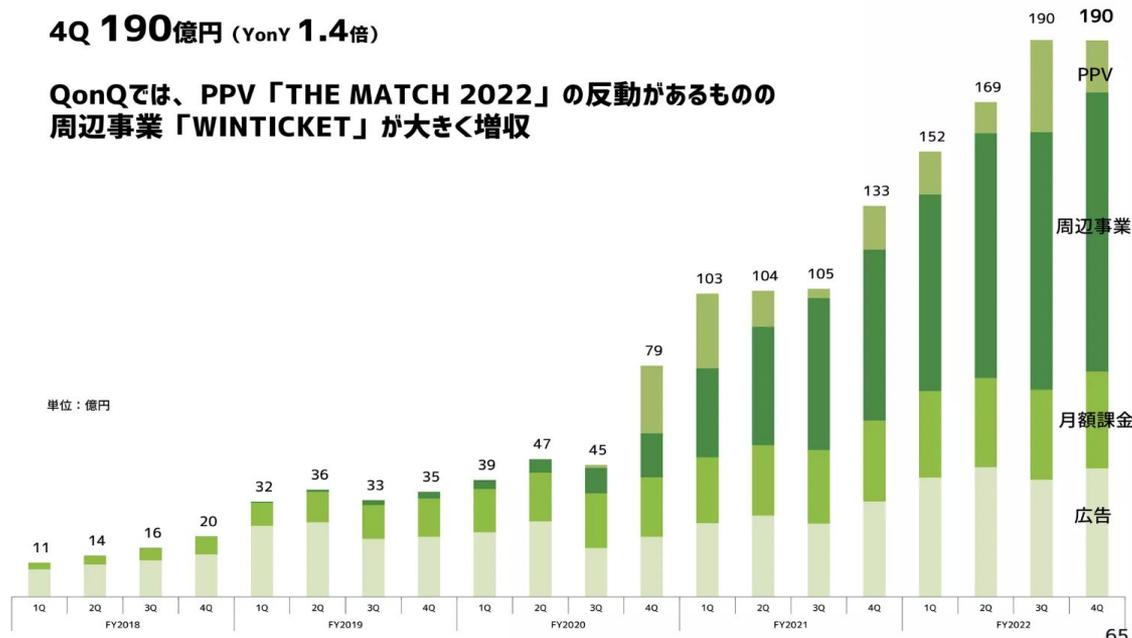
周辺事業が主力収益

6. メディア事業

[ABEMAと周辺事業の売上高]

4Q **190**億円 (YoY **1.4**倍)

QonQでは、PPV「THE MATCH 2022」の反動があるものの
周辺事業「WINTICKET」が大きく増収



アベマ 周辺事業の成功例:WINTICKET

レース映像を
ライブ配信

AI予想など
予想が充実

豊富な
データベース

ABEMA
番組連動

WINTICKET

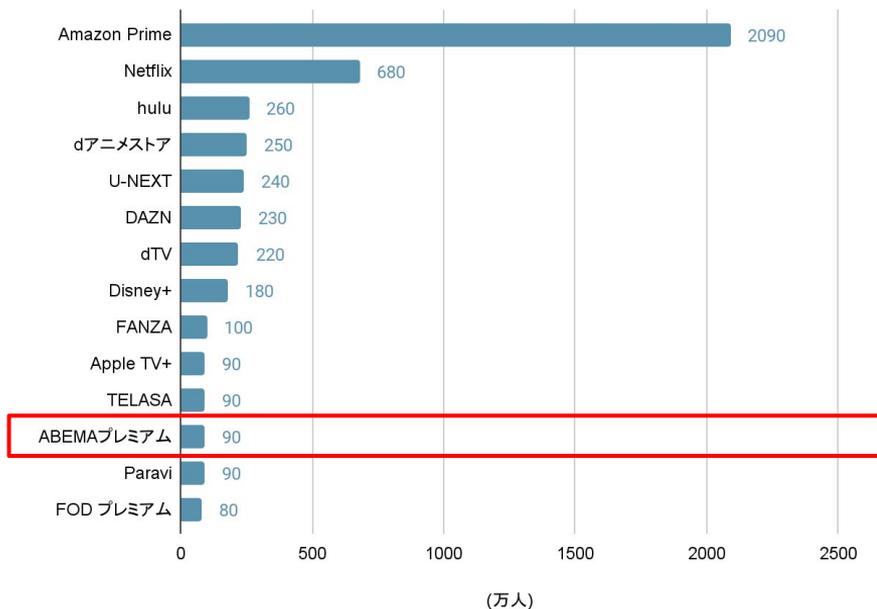
競輪
競馬
オートレース
チケット購入サービス



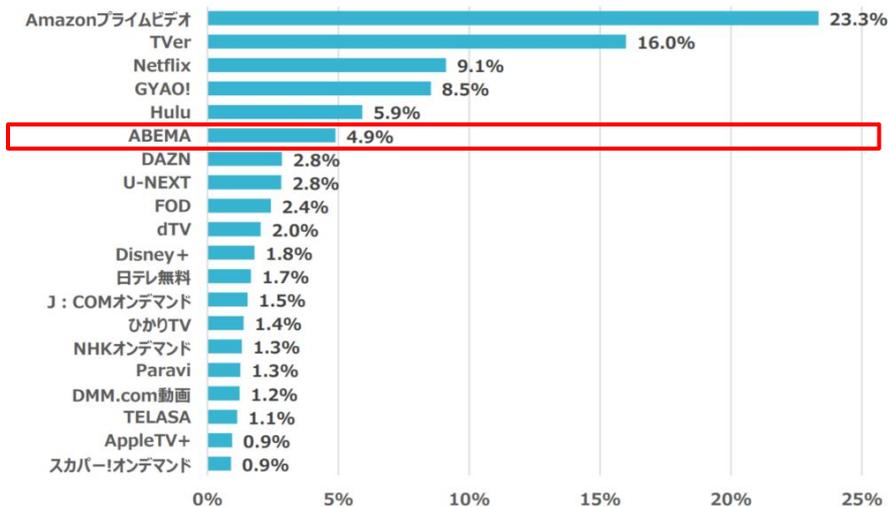
新規視聴者が
ニッチコンテンツに
ハマるのか？

群雄割拠の動画配信サービス

サービス別 会員数



動画配信サービス 利用率ランキング ※有料・無料問わない



複数回答

全国 10~50代 n=7,241

スパコロ 「動画配信サービス利用率の調査」

詳細版の表はスパコロサイトお問合せよりお求めください

Abemaの現在地

- W杯で認知度上昇も、収益化はなお **茨の道**
- 位置づけは「**YouTube以上、テレビ未満**」
- ある程度しっかりしつつ、**地上波では流せない** コアな内容
 - 本田さんの解説
 - アンジャッシュ渡部
 - ギャンブル
- **広告モデル** では厳しいのでは？

バリュエーション

- ざっくり試算(企業価値＝営業利益の10倍)
 - 広告事業:245億円 → **2,450億円**
 - ゲーム事業:303～964億円 → **3,030～9,640億円**
 - メディア事業:▲124億円 → 算定不能
 - 合計:**5,480～1兆2,090億円** ※ネットキャッシュ企業であるため、有利子負債の減算はなし
- 現在時価総額:**約6,600億円**

現在、メディア事業(Abema)は **ほぼ評価されていない** 状況。

すなわち、**当たれば丸儲け**！財務状況は(今のところ)大丈夫。

藤田氏の考え



- 21世紀を代表する会社を作る
- ABEMAを軸とした価値創造
- 新規事業を産む社風、創造力
- **生粋のギャンブル狂**